

	建替案（1）	建替案（2）	耐震改修案										
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ○東地区に行政機能を集約し、3号館と新県庁舎を一体的に利用し、2号館跡に、大規模な緑のオープンスペースを整備。 ○賑わい交流ゾーンは西地区に配置し、大規模な施設の整備が可能。 ○芸術文化ゾーンは南地区に配置し、県公館とも連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西地区に主要な行政機能を集約し、災害対策センター及び県警本部との連携を強化。3号館との間に地下通路を設置。 ○賑わい交流ゾーンは東地区に配置し、三宮や元町駅東口（トアウエスト等）からの回遊による賑わいを創出。 ○芸術文化ゾーンは、①東地区に配置し賑わい交流ゾーンの民間施設と合築する、または、②南地区に単独で整備する2案を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1号館、2号館、議場を耐震改修（面積不足分は増築棟を整備） ○県民会館を大規模改修（芸術文化機能強化のため増築棟を整備） ○賑わい交流ゾーンは南地区に配置し、県公館とも連携。 										
事業費及び整備規模	<ul style="list-style-type: none"> ○概算工事費 650～700億円程度（新県庁舎、新県民会館整備費） （主な財源：県有施設等整備基金、定期借地料など） ○70年間コスト 約950億円（残存価値考慮後） 費用 約950億円 - 残存価値 0億円 = 約950億円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>（費用の内訳） 建替整備費</td> <td>約700億円</td> </tr> <tr> <td>修繕費（20・40・60年後）</td> <td>約250億円</td> </tr> </table> 	（費用の内訳） 建替整備費	約700億円	修繕費（20・40・60年後）	約250億円	<ul style="list-style-type: none"> ○整備規模（駐車場を含む） 新県庁舎 現行 約58,000㎡ → 建替後 約76,000㎡ (+18,000㎡) 新県民会館 現行 約16,000㎡ → 建替後 約23,000㎡ (+7,000㎡) 	<ul style="list-style-type: none"> ○概算工事費 500億円程度（耐震補強設計を踏まえた試算） （主な財源：緊急防災・減災事業債、定期借地料など） ○整備規模（駐車場を含む） 建替え案と同規模を確保 （県庁舎 約18,000㎡、県民会館 約7,000㎡を増築） ○70年間コスト 約1,050億円（残存価値考慮後） 費用 約1,400億円 - 残存価値 約350億円 = 約1,050億円 ※残存価値：35年後に建替える県庁舎及び県民会館の70年後の価値 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>（費用の内訳） 耐震改修費（県民会館改修費等含む）</td> <td>約500億円</td> </tr> <tr> <td>建替整備費（35年後）</td> <td>約700億円</td> </tr> <tr> <td>修繕費（20・40・60年後）</td> <td>約200億円</td> </tr> </table> 	（費用の内訳） 耐震改修費（県民会館改修費等含む）	約500億円	建替整備費（35年後）	約700億円	修繕費（20・40・60年後）	約200億円
（費用の内訳） 建替整備費	約700億円												
修繕費（20・40・60年後）	約250億円												
（費用の内訳） 耐震改修費（県民会館改修費等含む）	約500億円												
建替整備費（35年後）	約700億円												
修繕費（20・40・60年後）	約200億円												
工程	<ul style="list-style-type: none"> ○新県庁舎：着工2024年頃、完成2029年頃 ○新県民会館：着工2021年頃、完成2023年頃 ○民間施設：着工2028年頃、完成2030年頃 	<ul style="list-style-type: none"> ○新県庁舎：着工2022年頃、完成2026年頃 ○新県民会館：（南地区の場合）着工2021年頃、完成2023年頃 （東地区の場合）着工2028年頃、完成2030年頃 ○民間施設：着工2028年頃、完成2030年頃 	<ul style="list-style-type: none"> ○本庁舎：耐震改修・増築 着工2021年頃、完成2029年頃 ○県民会館：改修・増築 着工2021年頃、完成2024年頃 ○民間施設： 着工2022年頃、完成2023年頃 										
配置案の評価	<ul style="list-style-type: none"> ○新県庁舎と3号館を近接して整備することで、一体的な利用が可能であるが、災害対策センターや県警本部から離れる。 ○賑わい交流ゾーンは、1号館跡地の広大な敷地で、計画の自由度が高く、民間事業者による多様な活用が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害対策センター、県警本部が近接し、災害時に迅速な連携が図れるが、行政機能が新県庁舎と3号館に分かれる。 ○耐震強度が不足する県庁舎の建設が最も早く完了する。 ○賑わい交流ゾーンは、県公館北側は海・山への眺望が確保できるが、県民会館跡地との2カ所に分かれる。 ○新県民会館と民間施設の合築により、民間事業者の収益性が高まり、参画事業者の増加が期待できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○耐震改修では、機能アップは限定的となる。また、35年後には建替が必要となる。 ○執務室面積の減への対応や県関係団体への集約等のため増築が必要となり、緑地面積が減少する。 ○県民会館改修時に2年程度の休館が必要。 ○賑わい交流ゾーンは、敷地面積が手狭で大規模な施設が整備できない。 										